

〔 横浜市民ギャラリーあざみ野 〕  
 平成 27 年度事業計画及び収支予算  
 〔 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 〕

- ※ 文中の事業欄において、  
 ●：主催事業。○：共催事業  
 を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、  
 □：定量的指標。■：定性的指標  
 を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市民ギャラリーあざみ野
所在地	青葉区あざみ野南一丁目17番地3
構造・規模	鉄筋鉄骨コンクリート造地上3階・地下1階
敷地・延床面積	敷地面積 4,283 m <sup>2</sup> 延床面積 7,899 m <sup>2</sup> / 専有面積 1,975 m <sup>2</sup>
開館日	平成 17 年 10 月 29 日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル1階
代表者	理事長 澄川 喜一
設立年月日	平成 3 年 7 月 10 日
指定期間	平成 27 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日まで

3 指定管理に係る業務方針

(1) 基本的な方針

【指定管理期間中の使命】

横浜市が進める「文化芸術創造都市の全市展開」における地域活性化のモデルケースとして、指定期間第3期の基本コンセプト「アートでつなぐ横浜らしいまちづくり」の実現に向け、より一層のまちの魅力・活力の創出に取り組みます。

【業務取り組みの基本的な考え方】

1 アートで横浜らしいまちづくり

横浜らしい特色のある芸術文化を横浜の北部地域から発信し、まちの賑わいづくりやコミュニティの活性化を図り、「誇れるまち・住み続けたいまち」の進展に貢献します。アートと日常生活の関係を中長期的なテーマとして捉え、横浜市北部地域をはじめとする市民の方々が、施設に来館したり、アートと触れ合うことで、地域での生活、暮らしの場であるまちに活力を与えるような取り組みを進めます。

## 2 アートで子どもの育みを応援

子どもは未来の宝です。アートの力で次世代を担う子どもの成長を応援します。豊かな感性や創造性、表現力、コミュニケーション能力、思いやりの心、自立心の育みを応援します。開館以来、当館の大きな柱である子どもへの取り組みをさらに充実させるとともに、学校との関係、地域との関係を深め、子どもの生活とアートの力を結びつけ、全ての子どもにアートに触れる機会が行き渡るように努めます。

## 3 すべての人に開かれた運営

横浜市男女共同参画センター横浜北（以下「センター横浜北」）と共に、年齢、性別、人種、国籍、障がいの有無などに関係なくすべての人を受け入れ尊重し、開かれた施設運営を行います。ハード・ソフトのバリアフリー化のさらなる促進、誰もが参加できるアートプログラムの協働実施、障がい者によるアートの発信などに取り組みます。

## (2) 27年度の業務の方針及び達成目標

### 【全体業務について】

平成27年度は、指定管理第3期の初年度であるとともに開館10周年を迎える節目の年度です。これまで（指定管理1期・2期）の実績と蓄積および反省点を踏まえ、志も新たに横浜市北部地域のまちづくりに取り組んでいきます。

#### ① 事業について

企画展は、今を生きる若いアーティストに光をあてる「あざみ野コンテンポラリー」（第2期の「横浜wo発掘suru」を統合）、子どもとアートを結びつける展覧会を中心とした総合的な夏休みイベント「あざみ野こどもぎやらりい」、当館の資源である「横浜市所蔵カメラ・写真コレクション」（以下「カメラ・写真コレクション」）を活かし現代の写真表現も紹介する展覧会「あざみ野フォト・アニュアル」の3つに取り組みます。「あざみ野コンテンポラリー」は、開館10周年を祝って、これまで取り上げてきた若手アーティストのその後の活躍ぶりを取り上げ、にぎやかで祝祭感溢れる内容にします。また、各企画展の訴求対象へ向けて重点的広報展開を図り、発信力のある展覧会にするとともに、集客の拡大を目指します。

アトリエ事業では、「市民のためのプログラム」や「子どものためのプログラム」を継続するとともに当館の独自性であるカメラ・写真コレクションを活かしたプログラムを新たに加え、当館らしい個性あるものとして内容を充実させます。また、「あざみ野カレッジ」では、横浜市北部地域の特性を活かした、まちの再発見にもつながる新たなプログラムを実施し、誇れるまちを発信していきます。

アウトリーチ事業は、横浜市芸術文化プラットフォーム事業のほかに、当館独自の取り組みとして小・中学校以外へのアウトリーチの市場調査を行い、28年度以降の実施に結び付けます。

協働事業では、センター横浜北との連携をさらに強化し、幅広い市民との協働、訴求力のある事業を展開します。センター横浜北が所管するレクチャールーム等を活かした事業、「あざみ野サロン」では、新たな取り組みとして、映画鑑賞事業を実施するとともに、都心部のダンスフェスティバルと連携し、横浜市北部地域と都心部の取り組みを結びつける役割を担います。また、センター横浜北が抱える課題を共有し、芸術文化を活かした課題解決の取り組みを進めます。さらに、横浜市北部地域の大学と協働し、インターン実習生の受入や学生の発想を活かした地域課題の解決に向けた取り組みなどを展開していきます。

② 運営について

ホスピタリティの向上と公平・公正を運営の基本とします。利用者サービスの向上、バリアフリーの推進等、センター横浜北と協働で利用者に居心地のよい施設運営を行います。施設利用者や、地域の利用者など幅広い市民から意見を集約し、運営に反映させるとともに、利用者の目線に立って、芸術文化活動の成果が最大限発揮できるよう、専門的なサポートを行います。また、貸館での展覧会もより多くの市民に見ていただき、展示する側と見る側の交流を豊かにしていくことが「まちづくり」に重要な役割を果たすと考えられることから、貸館による展覧会の広報支援をより強化、充実していきます。

③ 管理について

アートフォーラムあざみ野の施設・設備の維持管理業務を総括的に担うセンター横浜北および管理委託会社と情報を共有し、PDCAを徹底し、施設の長寿命化や環境への負荷軽減に向けた管理を行います。

市民ギャラリーあざみ野の専有設備等については、ギャラリーとしての高い水準を維持し、長寿命化を図るために、丁寧な維持管理を行っていきます。

また、市民の貴重な財産であるカメラ・写真コレクションの整理・保存を適切に行うとともに、より効果的な活用策について検討を進めます。

#### 4 業務の取組と達成指標

(1) 事業について

ア 市民の文化芸術活動の支援について

[目指す成果]

- ・初心者にも専門性の高い講座を希望する方々にも応える幅広い美術創作プログラムを開催し、創作の楽しさを実感していただくことで、市民にとってアートをより身近に感じていただけるようにします。
- ・さまざまな人たちが集まり、アートを楽しく学びながら、人と人との豊かなつながりや新たな活動が生まれる場となります。
- ・都心部のフェスティバル事業との連携企画や、複合施設の特徴を活かした舞台系事業や新たな映画鑑賞事業を実施し、アートフォーラムあざみ野の賑わいを創出するとともに新規顧客を開拓します。
- ・アートを使った市民交流やコミュニティの活性化に努め、まちづくりにアートの力を活かします。

[取組内容]

- 市民のためのプログラム  
初級者向けの、絵画・陶芸・版画・写真等の基礎を習得するワークショップ、中級者向けの技術や表現の向上をアーティストから学ぶワークショップなど
- 「あざみ野カレッジ」  
アートの領域を広げ、生活の中にあるさまざまなテーマをとり

[達成指標]

- 市民のための講座・ワークショップ  
年間 10 コース以上  
年間参加者 延べ 700 名以上  
平均満足度 4.6 以上
- あざみ野カレッジ  
年間参加者 150 名以上  
平均満足度 4.5 以上

<p>あげる学びの場</p> <p>●あざみ野サロン レクチャールームなどで舞台系事業や女性をテーマにしたイベントを実施</p> <p>●地域アウトリーチ事業 地域で活躍する市民と協働し、アートを通じた市民の交流、まちの賑わいづくり。(地域の祭りやイベントへの参加を含む)</p>	<p>□あざみ野サロン 音楽、映像、その他舞台系事業を各1事業以上</p> <p>□「ダンスダンスダンス@ヨコハマ」連携企画1回</p> <p>□地域アウトリーチ事業 2回以上</p>
--	--

イ 子どもたちをはじめとする次世代育成について

<p>[目指す成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アートを通して子どもの感性を磨き、主体性を伸ばすとともに、創造の喜び、コミュニケーション力、思いやりの心を育みます。</li> <li>・子どもたちにアートの体験を提供することで、将来に向けてアートに親しむ市民を育みます。</li> <li>・学校教育と連携し、鑑賞事業や教師を対象にした鑑賞・実技のワークショップを実施して学校現場での次世代育成をサポートします。</li> </ul>	
<p>[取組内容]</p> <p>●企画展「あざみ野こどもぎやらりい 2015」(8月) 子どもから大人まで楽しめる内容の、自由参加型のワークショップもある展覧会</p> <p>●子どものためのプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子のフリーズーン</li> <li>・親子で造形ピクニック (個別支援学級や特別支援学校に通う親子を対象) 親子が粘土、紙、絵の具で遊べる造形・創造活動の場</li> <li>・ワークショップ プログラムごとに対象年齢を設定し、体験することを大切にしたい幼児・児童向けの多彩な講座</li> </ul> <p>●アウトリーチ アーティストと一緒に「横浜市芸術文化教育プログラム」に協力</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□「あざみ野こどもぎやらりい 2015」 来場者 3,000人以上</p> <p>□身体表現ワークショップを1回以上実施</p> <p>□フリーズーン、造形ピクニック 年間参加者 延べ8,500人以上</p> <p>□ワークショップ 年間 10講座以上 年間参加者 延べ500人以上 平均満足度 4.6以上</p> <p>□アウトリーチ (芸術文化教育プログラム) 3校以上</p>

<p>●学校教育との連携 小・中学・高校の美術の先生との連携、研修への協力</p>	<p>□先生のためのワークショップ 1回</p>
---	--------------------------

ウ アーティスト・クリエイターの支援と創造性を活かしたまちづくりについて

<p>[目指す成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい表現に取り組む才能豊かな新進アーティストを発掘し、発表の機会を提供することで、飛躍のきっかけとします。</li> <li>・市民とアーティストの交流の場や、若手アーティストや障がいのある人たちのアート作品を発表する場を提供し、アートを介してさまざまなネットワークが広がる場を創出します。</li> <li>・すべての人に開かれ、親しみやすく賑わいのある場をつくり、さまざまな市民協働事業の相乗効果で来館者が増加します。</li> <li>・センター横浜北との協働関係をさらに強化し、文化芸術と男女共同参画の理念を融合した事業や新たな利用者を開拓する事業を展開することで、魅力あるまちづくりにつなげます。</li> </ul>	
<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●企画展の関連事業、トークイベント</li> <li>●ショーケースギャラリー ホワイエに設置した展示ケースで、新進アーティストの小品展を実施</li> <li>●フェローアートギャラリー 障がいのある人たちの作品を紹介</li> <li>○ロビーコンサート 横浜市民広間演奏会のメンバーや地域の方々にもご出演いただく気軽に楽しいコンサート</li> <li>○ジュニアコーラス (ワークショップ&amp;コンサート)</li> <li>○あざみ野マルシェ/アートワゴン アーティストや障がいのある人たちのアート作品を発表・販売。</li> <li>○「アートフォーラムフェスティバル 2015」 全館あげての大型イベント</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□コンテンポラリー展と写真展会期中に、市民とアーティストが交流する事業、トークイベント、ワークショップなどを実施。 年4回</li> <li>□ショーケースギャラリー 年4回</li> <li>□フェローアートギャラリー 年4回 (vol. 17~20)</li> <li>□ロビーコンサート 年24回</li> <li>□ジュニアコーラス 1コース (ロビーコンサートで成果発表)</li> <li>□あざみ野マルシェ/アートワゴン 年8回以上</li> <li>□アートフォーラムフェスティバル 参加団体 30以上、来場者 3,000人以上</li> </ul>

<p>○大学連携事業</p> <p>横浜北部地域の大学と連携し、ワークショップやイベント参加に取り組む</p>	<p>□大学連携事業 3回</p>
---	-------------------

エ 横浜らしい先進的な文化芸術の市民への発信について

<p>[目指す成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「横浜らしさ」をコンセプトに進取の精神に富んだ事業を実施し、「誇れるまち・住み続けたいまち」の進展に貢献します。</li> <li>・都心部のフェスティバル事業と連携した企画によって、イベント周知や盛り上げの相乗効果を発揮し、横浜の魅力を横浜北部地域からの発信役を担います。</li> <li>・市民がアートに出会う場を提供し、芸術文化を身近に鑑賞・体験できる拠点としての機能を発揮します。</li> <li>・市民とアーティストや作品との距離を縮め、アートを身近なものにするとともに、同時代に創造されているアートと生活の関係性を深め、アートの振興に貢献します。</li> </ul>	
<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●開館10周年記念 企画展「あざみ野コンテンポラリー」(10月頃)</li> <li>●「ダンスダンスダンス@ヨコハマ」連携事業</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□「あざみ野コンテンポラリー」 来場者3,000人以上 平均満足度4.6以上</li> <li>□「ダンスダンスダンス@ヨコハマ」連携事業 1回以上</li> </ul>

オ カメラ・写真コレクションの展示・保存・調査研究・教育普及について

<p>[目指す成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コレクションを活用した鑑賞の機会を提供し、カメラ・写真ファンの要望に応えるとともに、市民に分かりやすくカメラや写真の歴史を伝え、カメラ・写真文化に親しんでいただきます。同時に、日本における写真発祥の地の一つといわれる横浜市の映像文化都市づくりに貢献します。</li> <li>・コレクションを最適な環境で保存し、貴重なコレクションを劣化させることなく、次代に引き継ぎます。</li> </ul>	
<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「横浜市所蔵カメラ・写真コレクション+写真企画展」(2月) 『フォト・ヨコハマ』の時期に合わせて実施</li> <li>●「ギャラリー イン ザ ロビー」ロビーに設置したケース内でのテーマを設定した小展示</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□「横浜市所蔵カメラ・写真コレクション+写真企画展」 来場者 3,000人以上 平均満足度4.6以上</li> <li>□ロビー展示 年4回実施</li> <li>■ワークショップや講座を実施し、カメラや写真制作に関わる理解を推進</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>●資料のデータベース整備</li> <li>●作品の状態確認、修復</li> <li>●貸出、熟覧への柔軟な対応</li> </ul>	<input type="checkbox"/> データベース整備 カメラ：完了、カメラ以外：90%
--	---

(2) 運営について

ア 市民の文化芸術活動の支援について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●貸館 利用者の制作活動や発表の場で最大限の成果が得られるように支援</li> <li>●各種支援 施設利用者の広報協力ほか専門施設ならではの支援の実施</li> <li>●利用団体の展覧会情報をホームページや情報誌で紹介し、広報協力</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <input type="checkbox"/> アンケートによる展示室利用者の満足度 4.6 以上
---	--

イ 施設の利用促進を図る取り組みについて

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●アトリエの夜間利用料金割引による新規利用者開拓と利用促進</li> <li>●新たな割引制度を導入（高校生・大学生）</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <input type="checkbox"/> アトリエ利用目標利用率 コマ単位 61%、日にち単位 93% 夜間コマ利用率 34%
---	---

ウ 利用者のニーズ・要望・苦情等への対応について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●北部 4 区を対象に認知度調査を実施</li> <li>●管理合同ミーティング、職員ミーティングによる情報共有及び適切な対応</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <input type="checkbox"/> 市民ギャラリーあざみ野の横浜市北部地域における認知度 24%以上（H26 年度 22%） <input checked="" type="checkbox"/> 利用者のクレームや意見を館内職員で情報共有し、迅速な運営改善につなげます。
---	--

エ 運営組織、勤務シフト等について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●専門職員、管理・運営職員ともに適切な人材を配置</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <input type="checkbox"/> 人材の配置について
--	--

●適切かつ効果的な勤務体制を確立	項目	人数	備考
	館長	1人	
	副館長	1人	
	職員	8人	
	臨時職員	3～5人	短時間勤務

●切れ目のない責任体制の維持

□勤務体制について  
 基本：早番（8：45～17：30）2名  
 遅番（12：30～21：15）2名  
 （全職員によるローテーション制）

■繁閑に応じて柔軟なシフトを組み、職員のワークライフバランスに合わせた勤務と効率的な運営を両立させ、良質な利用者サービスを提供します。

■館長・副館長不在時の代行者を明確にし、責任体制を維持

(3) 管理について

ア 施設及び設備、備品の維持保全及び管理、小破修繕への取り組みについて

[取組内容]	[達成指標]
○長寿命化、初期状態の維持を図る	□展示室壁面の年1回のメンテナンス(塗り直し)
○センター横浜北、管理委託会社とともに建物・設備の保守管理を確実にを行い、法定点検を遺漏なく実施	□電気・空調・衛生設備・昇降機を法定通り点検
○設備・備品の適切で効率的な維持保全及び管理により、良好な状態を保持	□AEDを設置し、センター横浜北、管理委託会社と共に職場内で年1回の操作研修を実施
○維持管理経費の適正化、削減についての方策検討	■横浜市が策定する「維持保全の手引き」および「施設管理者点検マニュアル」に基づく点検・報告を実施
	■クレームの無い、快適な環境維持を目指します。
	□センター横浜北、管理委託会社と共に年1回の検討会を開催

イ カメラ・写真コレクションの適切な収蔵、保管について

[取組内容]	[達成指標]
●適切な収蔵庫管理(温湿度管理、空気測定、喰害虫調査など)を実施	□展示室内環境は、年間通して温度 $20^{\circ}\text{C} \pm 2^{\circ}\text{C}$ 、湿度 $50\% \pm 2\%$
	■pH値を定期的に測定し、測定結果に応じたケミカルフィルターを設置
	□文化財喰害虫生息調査を年8回実施
	□月1回の庫内点検、定期的な清掃を実施
	■東京都写真美術館、日本カメラ博物館、横浜美術館などの専門機関と協力・連携



ウ 事故防止策・緊急時(防犯)の対応、防災に対する取り組みについて

<p>[取組内容]</p> <p>○危機管理マニュアルの整備と事故防止</p> <p>○訓練や啓発活動などを通じた防災への取り組み</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■これまで蓄積してきた各種マニュアルを常に見直し、新たな危機の想定など、必要に応じた更新・改訂をしていきます</p> <p>■常に全職員がマニュアルを理解するように定期的確認行動を図り、危機の際には「アートフォーラムあざみ野」全職員が一致して対応します。</p> <p>□センター横浜北との合同防災訓練を年2回実施。</p> <p>■帰宅困難者一時滞在施設として、対応訓練を年1回実施し、地域の防災拠点としての役割を担います。</p>
---	--

エ 個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など、本市の重要施策を踏まえた取り組みについて

<p>[取組内容]</p> <p>●適正な個人情報保護、情報公開</p> <p>●省エネルギー、ごみ削減</p> <p>●市内業者への優先発注</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■個人情報は規程及びマニュアルに基づき適切に取り扱います。</p> <p>■ゴミを適切に分別し、排出量を抑えます。利用者にはゴミの持ち帰りの原則を徹底し、必要な場合はゴミ袋を有料で販売します。</p> <p>□電気とガスの使用量を前年度並みに抑制します。</p> <p>■物品購入・委託等は、アーティスト指定や市外業者のみが取り扱うものを除き、市内業者に発注します。</p>
---	--

(4) その他

ア 広報の充実について

<p>[取組内容]</p> <p>●ホームページの内容を充実させ、最新の情報を発信</p> <p>●様々な広報媒体を活用</p> <p>○センター横浜北との広報協力</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□ホームページ更新 週1回以上</p> <p>□ホームページアクセス件数年間50万件以上</p> <p>□メールマガジン 月1回の定期配信</p> <p>□情報誌「アートあざみ野」 年3回以上発行</p> <p>□企画展の広報 交通広告を年3回掲出</p> <p>■無料媒体(フリーペーパー、「広報よこはま」など) 月1回以上掲載</p> <p>■事業内容や想定対象層等を踏まえて、効果的な媒体を選択し、コストパフォーマンスの高い集中広報を行います。</p> <p>□センター横浜北との合同広報会議 月1回</p>
--	--

## 5 収支予算について

指定管理料のみに依存しない収入構造、経費節減や効率的運営への努力について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●利用料金収入の安定的な確保</li> <li>●助成金・協賛金を獲得</li> <li>○経費削減、効率的運営</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□利用料金収入、負担金収入を年間 1,300 万円以上</li> <li>□助成金を 2 件以上申請し、協賛金・広告料とあわせて獲得目標 200 万円以上</li> <li>■センター横浜北とも協力し、施設管理にかかる委託費を前年度並みに抑制</li> </ul>
--	---

### 収支予算書

収入 (単位：円)

科目	予算額	備考
指定管理料	160,400,000	
利用料金収入	9,347,000	
自主事業収入	4,400,000	
雑入	4,176,000	
<b>収入合計</b>	<b>178,323,000</b>	

支出

科目	予算額	備考
人件費	63,740,000	
事務費	4,405,000	
事業費	36,400,000	
管理費	60,027,000	
公租公課	6,251,000	
事務経費	6,900,000	
ニーズ対応費	600,000	
<b>支出合計</b>	<b>178,323,000</b>	

差引	0	
----	---	--

## 【別紙1】

### 自主事業一覧

#### 1 市民の文化芸術活動の支援

No	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	入場見込(人)	事業費(円)
1	4月～3月	市民のためのプログラム	アトリエ	初級者向けの、絵画・陶芸・版画・写真等の基礎を習得するワークショップ、中級者向けの技術や表現の向上をアーティストから学ぶワークショップなど。	700	2,200,000
2	5月～3月	あざみ野カレッジ	アトリエほか	アートの領域を広げ、生活の中にあるさまざまなテーマを取りあげる学びの場。	150	580,000
3	4月～3月	「あざみ野サロン」ほか舞台系事業	レクチャールームほか	舞台系事業や女性をテーマにしたイベントを実施。	420	1,740,000
4	4月～3月	地域アウトリーチ事業	館外	地域で活躍する市民と協働し、アートを通じた市民の交流、まちの賑わいづくり。	—	260,000

#### 2 子どもたちをはじめとする次世代育成

No	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	入場見込(人)	事業費(円)
1	8月	あざみ野こどもぎやらりい2015	展示室1・2 アトリエ	子どもから大人まで楽しめる内容の、自由参加型のワークショップもある展覧会。	3,000	2,700,000
2	4月～3月	子どものためのプログラム ① 親子のフリーズオン ② 親子で造形ピクニック ③ ワークショップ	アトリエ	① 子どもと保護者が自由に、粘土、絵の具、紙工作による造形遊びを楽しむ時間。 ② 個別支援学級や特別支援学校に通う親子を対象とした造形・創造活動の場。 ③ プログラムごとに対象年齢を設定し、体験することを大切にした幼児・児童向けの多彩な講座。	8,500	3,740,000

3	4月～3月	学校連携事業 ①アウトリーチ事業 ②先生のためのワークショップ	アトリエ ほか	① 「横浜市芸術文化教育プログラム」に参加し、アウトリーチ事業を実施。 ② 横浜北部地域の小・中学校、高校の美術の先生方と連携し、学校現場での次世代育成をサポート。	500	400,000
---	-------	---------------------------------------	------------	---	-----	---------

### 3 アーティスト・クリエイターの支援と創造性を活かしたまちづくり

No	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	入場見込(人)	事業費(円)
1	8月～2月	企画展の関連事業、トークイベント	展示室、アトリエほか	企画展会期中に、市民とアーティストが交流する事業、トークイベント、ワークショップなどを実施。	(企画展入場者に含む)	(企画展事業費に含む)
2	4月～3月	ショーケースギャラリー	エントランスロビー	ロビーに設置した展示ケースで主に新進アーティスト小品展を実施。	—	640,000
3	4月～3月	フェローアートギャラリー	2Fラウンジ	障がいのある人たちのアート作品を紹介。	—	580,000
4	4月～3月	ロビーコンサート	エントランスロビー	横浜市民広間演奏会のメンバーや地域の方々にもご出演いただく気軽に楽しいコンサート。	2,000	900,000
5	11月～12月	ジュニアコーラス」	アトリエ、音楽室、エントランスロビー	小学生対象の合唱。ワークショップ9回と本番(ロビーコンサート出演)1回。	300	700,000
6	4月～3月	あざみ野マルシェ／アートワゴン	エントランスロビーほか	アーティストや障がいのある人たちのアート作品を発表・販売。	—	350,000
7	10月25日	アートフォーラムフェスティバル2015	全館	アートフォーラムあざみ野の開館を記念して実施する全館あげての大型イベント。	3,000	760,000
8	8月～3月	大学連携、共催ワークショップ、インターンシップ	アトリエほか	共通するテーマのワークショップ、高校生の職場体験、大学生インターンの受け入れ、協働での企画等。	100	250,000

4 横浜らしい先進的な文化芸術の市民への発信

No	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	入場見込(人)	事業費(円)
1	10月	あざみ野コンテンポラリー	展示室1・2 ほか	さまざまなアーティストが現在行っている表現活動に目を向けた展覧会。	3,000	4,200,000
2	8月～11月	「ダンスダンスダンス@ヨコハマ」連携事業	全館	「ダンス・ダンス・ダンス@ヨコハマ2015」と連携し、新進気鋭のダンサー、振付家によるワークショップやダンス公演を実施。	160	1,000,000

5 カメラ・写真コレクションの展示・保存・調査研究・教育普及

No	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	入場見込(人)	事業費(円)
1	2月	あざみ野フォト・アニマル(横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展+写真企画展)	展示室1・2	様々な切り口でコレクションを紹介し、写真の企画展をあわせて行う。	3,000	4,000,000
2	5月～3月	コレクション保存・調査研究・教育普及・活用 (「ギャラリー インザ ロビー」)	収蔵庫、エントランスロビーほか	データベース整備、適切な管理・保存業務。コレクションの魅力を広く紹介するための貸出、公開(ロビー展示)など。	—	1,180,000